

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

2 社会

(1) 正答率

問題	配点	正 答		一部正答		誤 答		無 答		通 過 率 率 = $\frac{\text{得点計}}{\text{人数} \times \text{配点}}$ (%)	
		数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)		
1	問1	3	373	93.0	0	0.0	23	5.7	5	1.2	93.0
	問2	4	295	73.6	71	17.7	25	6.2	10	2.5	82.4
	問3	5	164	40.9	117	29.2	110	27.4	10	2.5	56.8
	問4	3	166	41.4	30	7.5	205	51.1	0	0.0	45.4
2	問1	3	245	61.1	5	1.2	134	33.4	17	4.2	61.7
	問2	3	207	51.6	0	0.0	193	48.1	1	0.2	51.6
	問3	3	325	81.0	0	0.0	73	18.2	3	0.7	81.0
	問4	5	258	64.3	91	22.7	16	4.0	36	9.0	75.8
	問5	3	292	72.8	15	3.7	94	23.4	0	0.0	74.9
3	問1	3	163	40.6	0	0.0	221	55.1	17	4.2	40.6
	問2	5	168	41.9	156	38.9	42	10.5	35	8.7	61.9
	問3	3	143	35.7	0	0.0	257	64.1	1	0.2	35.7
	問4	3	241	60.1	0	0.0	158	39.4	2	0.5	60.1
	問5	3	177	44.1	0	0.0	222	55.4	2	0.5	44.1
4	問1	3	287	71.6	0	0.0	112	27.9	2	0.5	71.6
	問2	5	64	16.0	283	70.6	24	6.0	30	7.5	55.6
	問3	3	249	62.1	0	0.0	151	37.7	1	0.2	62.1
	問4	3	157	39.2	1	0.2	243	60.6	0	0.0	39.3
	問5	3	262	65.3	64	16.0	69	17.2	6	1.5	75.0
5	問1	2	346	86.3	0	0.0	55	13.7	0	0.0	86.3
	問2	3	219	54.6	0	0.0	181	45.1	1	0.2	54.6
	問3 (1)	2	321	80.0	0	0.0	47	11.7	33	8.2	80.0
	問3 (2)	5	93	23.2	91	22.7	150	37.4	67	16.7	34.3
	問4	3	267	66.6	65	16.2	50	12.5	19	4.7	74.8
	問5	3	269	67.1	0	0.0	128	31.9	4	1.0	67.1
6	問1	3	249	62.1	0	0.0	150	37.4	2	0.5	62.1
	問2	3	54	13.5	92	22.9	238	59.4	17	4.2	25.0
	問3	5	168	41.9	172	42.9	20	5.0	41	10.2	68.7
	問4	2	305	76.1	0	0.0	93	23.2	3	0.7	76.1
	問5	3	294	73.3	0	0.0	106	26.4	1	0.2	73.3

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

1 世界地図に示した5か国について調べる学習の場面を想定した、地理的分野の問題である。

問1 三大洋のうち、地図上に示された海洋の名称を書く問題である。

問2 チリにおける1993年と2017年の輸出相手国と輸出品に関するグラフや表を読み取り、まとめの中の空欄にあてはまる州と輸出品の名称を書く問題である。

問3 パリ、パース、サンフランシスコの気温と降水量を示したグラフから、地中海性気候に属するサンフランシスコを示すものを選び、そう判断した理由を、選んだグラフの6～9月の気温、気温と降水量の関係に着目して説明する問題である。

問4 フランス、オーストラリア、アメリカ合衆国、チリ、日本の2016年における人口、国土面積、農地面積、穀物生産量を示した表を読み取り、読み取れる内容を述べた文として正しいものをすべて選ぶ問題である。

- 2 日本のある地域の自然環境や産業について調べる学習の場面を想定した、地理的分野の問題である。
- 問1 地図に示された兵庫県明石市を通る経線と日本の標準時についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる経度について書く問題である。
- 問2 島根県、広島県、高知県の県庁所在地の12月・1月・2月と7月・8月・9月の降水量と年降水量を示した表を読み取り、表にあてはまる県庁所在地の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問3 広島県、愛媛県、高知県の2017年における人口、農業産出額、工業産出額を示した表を読み取り、表にあてはまる県の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問4 愛媛県と高知県の南西部及び三重県志摩半島の一部を示した地理院地図から海岸の地形の名称とその海岸の地形の特色を記述する問題である。
- 問5 島根県の一部を示した2万5千分の1の地形図を読み取り、読み取れる内容を述べた文として下線部が正しいものをすべて選ぶ問題である。
- 3 近世までの日本の経済などについて調べる学習の場面を想定した、歴史的分野の問題である。
- 問1 壬申の乱に勝って即位した人物名を書く問題である。
- 問2 皇室と平氏及び藤原氏の関係を示した系図から行ったことの共通点について記述する問題である。
- 問3 室町時代と同時期の世界のできごとを述べた文として、その正誤の組み合わせが正しいものを選ぶ問題である。
- 問4 安土桃山時代の文化について述べた文と、安土桃山時代の代表的な文化財の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問5 江戸時代の社会や経済の様子を述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 4 近現代の年表を基にした、歴史的分野の問題である。
- 問1 自由民権運動の広まりや政党の結成についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる人物の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問2 紡績業の変化に関するグラフや資料を読み取り、日本の産業の発展について記述する問題である。
- 問3 昭和初期から第二次世界大戦終結に至るまでのできごとについて述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 問4 第二次世界大戦後から冷戦終結に至るまでの日本の経済について述べた文を、年代の古い順に並べかえる問題である。
- 問5 第二次世界大戦後における世界の動きについてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書き、国を選ぶ問題である。
- 5 テーマを設定して調べる学習の場面を想定した、公民的分野の問題である。
- 問1 「新しい人権」についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる権利と法律の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問2 国会について述べた文として、その正誤の組み合わせが正しいものを選ぶ問題である。
- 問3 (1) 内閣と国会の関係について学ぶ授業における先生と生徒との会話文を読み、会話文の中の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- (2) 議院内閣制のしくみの説明を書く問題である。
- 問4 刑事裁判についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- 問5 埼玉県の平成12年度及び平成31年度一般会計当初予算(歳入)の内訳のグラフを見て、グラフについて説明した文として正しいものを選ぶ問題である。
- 6 東京と各地の結び付きに関連する事項について調べる学習の場面を想定した、地理的分野・歴史的分野・公民的分野についての総合的な問題である。
- 問1 江戸時代の文化について述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 問2 原内閣についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる政党名を書き、原内閣のときのできごととして正しいものを選ぶ問題である。
- 問3 東京23区、都内市町村、埼玉県、千葉県、神奈川県の日夜間人口のグラフから読み取れる東京23区の日夜間人口の関係の特色と、そのような特色となる理由を通勤・通学人口を示した図から記述する問題である。

- 問4 海上輸送と航空輸送についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語句の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問5 インターネットを利用した商品やサービスの購入についてのグラフを読み取り、読み取れる内容を述べた文として正しいものを選ぶ問題である。

(3) 所見・解説

1 世界地図に示した5か国について調べる学習の場面を想定し、世界の地域構成や地域的特色について理解しているかをみようとした。

問1 地図1をみると、三大洋のうちXが示している海洋は「インド洋」である。

問2 グラフからチリの輸出相手国の上位5か国に着目すると、1993年では日本のみだったが2017年には中国、日本、韓国の3か国がアジア州であることが読み取れる。また表1から、チリの輸出総額に占める輸出品の割合は1993年と2017年ともに銅であることが読み取れる。よって、まとめのPには「アジア(州)」、Qには「銅」があてはまる。

問3 パリ、パース、サンフランシスコの気温と降水量を示したグラフから、地中海性気候に属する雨温図はアとイであり、北半球であるサンフランシスコがイであることが読み取れる。アは南半球であるパースであり、ウはパリである。また、そう判断をした理由は、北半球であるサンフランシスコでは夏となる6月と9月の気温が高く、気温の高い月に降水量が少ないからとなる。正答に至らなかったものには、気温についての記述がないまたは不十分なものがみられた。

問4 表から読み取れる内容を述べた文として正しいものは、ア、ウ、オとなる。アメリカ合衆国の農地面積は、国土面積9834(千km²)に対して4059(千km²)で3分の1以上となり、アは正しいと判断できる。農地面積に占める牧場・牧草地の割合はオーストラリアが日本より高く、ウは正しいと判断できる。5か国において国土面積が最も小さい日本は、人口も5か国中2番目に多いため、人口密度を求めると最も高くなり、オは正しいと判断できる。誤答の多くはイを含むものであった。

2 日本のある地域の自然環境や産業について調べる学習の場面を想定し、日本の諸地域の地域的特色、身近な地域の調査について理解しているかをみようとした。

問1 地図1中の経線Lとまとめの文章から、兵庫県明石市を通る日本の標準時子午線は「東経135(度)」である。

問2 松江市は日本海側、広島市は瀬戸内地方、高知市は太平洋側に位置する。日本の気候区分において、日本海側の気候の特色は、冬の降水量が多いことであり、12月・1月・2月の降水量の多いⅡが松江市となる。瀬戸内の気候の特色は1年を通して降水量が少ないことであり、年降水量の少ないⅠが広島市となる。太平洋側の気候の特色は、冬に降水量が少なく、夏に降水量が多いことであり、7月・8月・9月の降水量が多いⅢが高知市となる。これらにより、正答はウとなる。

問3 Xは中国・四国地方の地方中枢都市である広島市があることと、瀬戸内工業地域で工業がさかんであることから「人口」、「工業出荷額」の多い広島県と判断できる。Yは温暖な気候を生かした野菜の促成栽培がさかんであることから高知県と判断できる。Zは果樹の栽培がさかんであることから愛媛県と判断できる。これらにより、正答はイとなる。

問4 Pの範囲である愛媛県と高知県の南西部およびQの範囲である三重県志摩半島の海岸地形はともに「リアス海岸」であり、特色として海岸線が入り組んでいることがわかる。ここでは、インターネットにおける地図サイトとして国土交通省国土地理院の「地理院地図」を提示している。今後、地図サイトから入手できる地図と、従来の紙地図とをバランスよく活用することが求められる。

問5 A地点からB地点まで列車で移動する途中、宍道湖は進行方向右側となるため、アは誤りである。B地点からみて右下にあるC地点はおよそ南東の方向にあり、イは誤りである。縮尺が2万5千分の1の地形図であることからD地点からE地点までの直線距離は8cm×25,000=200,000cm=2kmとなるため、ウは正しい。F地点にみられる地図記号は老人ホームであり、エは正しい。等高線の間隔はG地点からH地点までの方が、G地点からI地点までより狭く、傾斜が急であると判断できるため、オは誤りである。したがって、正答はウ、エとなる。

3 近世までの日本の経済などについて調べる学習の場面を想定し、世界の歴史を背景とした近世までの日本の歴史について理解しているかをみようとした。

問1 壬申の乱に勝って即位したのは「天武(天皇)」である。「天武(天皇)」のころに日本で最初の銅

の貨幣である富本銭がつくられた。誤答の多くは、「天智（天皇）」、「聖武（天皇）」であった。

- 問2 平清盛の娘である徳子、藤原道長の娘である彰子と嬉子が天皇のきさきになり、その子が天皇となっていることを読み取ることができる。
- 問3 Xはムハンマドがイスラム教の開祖となったことについて述べた文であり、日本では飛鳥時代にあたる。Yはチンギス・ハンがモンゴル帝国を築いたことについて述べた文であり、日本では鎌倉時代にあたる。Zは李成桂が朝鮮国を建てたことについて述べた文であり、日本では室町時代にあたる。よって、正答はウとなる。誤答の多くは、イやエを選択したものであった。
- 問4 安土桃山時代の文化について述べた文はaであり、安土桃山時代の代表的な文化財は、資料1の「狩野永徳がえがいた唐獅子図屏風」であるため、正答はアとなる。文bと資料2は、江戸時代の元禄文化である。各時代の文化の特色と、その時代の代表的な文化財について理解を深める必要がある。誤答の多くは、ウを選択したものであった。
- 問5 江戸時代の社会や経済に関する問題であり、正答はエとなる。アは室町時代、イは鎌倉時代、ウは安土桃山時代である。誤答の多くは、アを選択したものであった。

4 近現代の日本と世界の歴史について理解しているかをみようとした。

- 問1 正答はアとなる。Pの人物は、民撰議院設立の建白書の提出を行い、自由党の党首となった板垣退助であり、Qは国会の早期開設などの急進的な主張をして政府から追い出され、後に立憲改進黨の党首となった大隈重信である。
- 問2 日本の産業革命期のグラフと資料から読み取った内容を表現する問題である。資料は紡績工場の写真であり、工場に機械が導入されていることがわかる。グラフ2では綿糸の国内生産量が増加していること、グラフ1では綿糸の輸出量が輸入量を上回ったことが読み取れる。正答に至らなかったものには、グラフ1や資料の読み取りの記述が不十分なものがみられた。
- 問3 日本が国際連盟の脱退を通告してからヤルタ会談が行われるまでの日本の社会や経済の様子について述べた文はイである。アとエはヤルタ会談よりも後、ウは日本が国際連盟の脱退を通告するよりも前である。誤答の多くはウやエを選択したものであった。
- 問4 正答はイ→ア→エ→ウとなる。選択肢の内容を読み取ることで、年号を暗記していなくても正答を導くことができる。アは高度経済成長についての内容であり、イは朝鮮戦争の特需景気から戦後の復興よりも後とわかる。エは第四次中東戦争をきっかけとする石油危機によって高度経済成長が終わったためアよりも後とわかる。ウはバブル経済で石油危機以降のことなのでエよりも後となる。
- 問5 まとめの文章を読み取ることにより、Xの空欄にあてはまる語は「冷戦」となる。また、Yについては、冷戦の両陣営の対立を示したまともと地図等からキューバとわかり、アと判断できる。

5 公民的分野において、興味のあるテーマを設定して調べる学習の場面を想定し、現代社会や日本の政治について理解しているかをみようとした。

- 問1 まとめの文章を読み取ると、正答に至ることができる。空欄Iにあてはまる語は「知る権利」であり、空欄IIにあてはまる語は「情報公開法」である。したがって、正答はエとなる。
- 問2 正答はウである。国会は唯一の立法機関なので、Xは誤っていると判断できる。
- 問3 (1) 会話を読み取ると、正答に至ることができる。空欄Aにあてはまる語は「与党」である。
(2) 「信任」、「連帯」、「責任」という語を用いて日本の議院内閣制のしくみを説明すると、「内閣は国会の信任に基づいて成立し、国会に対して連帯して責任を負うしくみ」となる。正答に至らなかったものには、内閣と国会の関係が不明瞭なものがみられた。
- 問4 まとめの文章を読み取ると、刑事裁判において警察官の協力を得て取り調べを行い起訴するものであることから、空欄Pにあてはまる語は「検察」である。また、重大な刑事事件の第一審で裁判官とともに事件を国民から選ばれた6人が担当することから、空欄Qにあてはまる語は「裁判員」である。
- 問5 正答はイとなる。地方公共団体が借り入れるのは地方債であり、アは誤りである。平成31年度の国庫支出金の収入額は、平成12年度に比べて少なく、ウは誤りである。地方債の収入額の割合は同じ数値でも総額が異なるため収入額は同じではなく、また地方公共団体の自主財源は地方税であり、エは誤りである。

6 東京と各地の結びつきに関連する事項について調べる学習の場面を想定し、地理的分野・歴史的分野・

公民的分野の3分野を総合的に理解しているかをみようとした。

問1 江戸時代の文化について述べた文は**エ**である。

問2 まとめの文章を読み取ると、空欄にあてはまる政党名は「立憲政友会」である。また、原内閣の時期のできごとを述べた文は**イ**である。**ア**は犬養毅内閣のとき、**ウ**は加藤高明内閣のとき、**エ**は桂太郎内閣のときのできごとである。

問3 グラフ1から東京23区の特徴として、昼間人口が夜間人口よりも多いことが読み取れる。また、そのような特色となる理由として、図1と図2から東京23区へ周辺から通勤・通学で流入する人口が、東京23区から周辺へ通勤・通学で流出する人口よりも多いことが読み取れる。ここでは、図1と図2からそれぞれ読み取ったことを比較して、記述することが必要である。正答に至らなかったものには、図2に関する記述が不十分なものが多くみられた。

問4 日本の海上輸送ではおもに輸送機械を輸出し、おもに鉱産資源を輸入している。また、航空輸送では海上輸送に比べて、おもに重量の軽い品目を輸出入している。したがって、正答は**ア**となる。

問5 グラフ2、グラフ3から読み取れる内容を述べた文として正しいものは**エ**となる。グラフ3を読み取ると、2018年の電子マネー保有世帯の割合は2008年の数値より2倍以上、2018年の電子マネー利用世帯の割合も2008年の数値より2倍以上であることがわかる。誤答の多くは、**ア**を選択したものであった。